

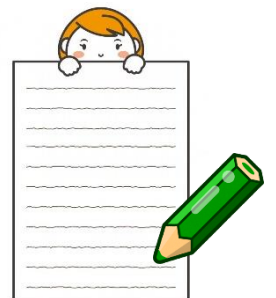
地域支援だより



令和4年12月23日(金) 発行
北海道教育大学附属特別支援学校
地域支援部

「サポートブック」をご存知ですか？

11月28日(月)に会議アプリZoomを活用して高等部茶話会が開かれました。進路担当から「現場実習から卒業後の福祉サービスまでの流れ」について、相談支援事業所「までに」の中村洋子氏から「卒業後の生活」について話題が提供されました。「卒業後の生活」では、急に母親が入院することになり、本人がショートステイを利用することになったケースについてお話を聞きました。支援計画などでご本人の実態について、例えば「トイレの介助が必要」などと記述されていますが、具体的にどのようなサポートが必要なのか分かりにくいことがあります。どのような環境や支援があればできるのか、例えば「便座に座り、背中を軽くポンとたたくことで、前かがみになって便器内に排尿することができる」など、急に支援者が変わることになっても、ご本人が適切かつ必要な支援を受けることができるよう、支援のコツをまとめた「サポートブック」を作ってみてはどうかという内容でした。いざという時に支援者が慌てずに対応できるよう、そしてご本人が困らずに安心して生活できるよう「支援のコツ」をブックに書き留め、1年に1度、例えば誕生日に更新していくといいかもかもしれません。



同窓会が開催されました！

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、7月末から開催を延期していた同窓会を、11月20日(日)に本校体育館で行いました。40名ほどの参加となりましたが、この日を心待ちにして参加した同窓生は、久しぶりに会う友人や先生方と過ごすひと時を楽しもうと、寸暇を惜しんで昔話や現在の仕事や生活の話に花を咲かせていました。

同窓会では、知ってもらいたいことを自由に話す「近況報告」のコーナーが恒例となっていますが、その中で嬉しい報告がありました！12月4～6日に広島で行われたスペシャルオリンピックス全国大会で、バスケットボール個人技能種目で金メダルを取ったというものでした。(本校同窓生の中では、もう1人銀メダルを取った方もいらっしゃいました！)そのメダルを首から下げて近況報告を行う彼は、在学中に増して自信に溢れ、大人びた生き生きとした表情で話してくれました。支援ミーティングなどでもよく卒業後の余暇活動について話題になりますが、好きなことを通して身に付けた自信や社会性は、より豊かな生活に結びついていくはずですよ。本校PTA 広報部でも本年度「よかしえんブック」の改訂を進めているところではありますが、クラブなどに所属しなくても、居心地のよい場所を見つけて、好きな活動をすることから始めてみてはいかがでしょうか。



新規開設福祉事業所紹介

- ・就労継続支援 B 型「百年の森」(函館市大川町15-20)
高齢者デイサービス、居宅介護支援、障がい児童デイサービス、就労継続支援 B 型と4業態の事業所をミックスした多世代複合施設です。施設内の清掃、コーヒー焙煎、リネン・ウェアをたたむ作業などを行っています。
- ・生活介護「ゆう」(函館市桔梗町1丁目6-1)
障害福祉サービスと高齢者を対象にした介護サービスを一緒に行う小規模多機能共生型居宅介護施設です。
- ・生活介護「みらいサロン」(函館市湯浜町12-5)
保護されたイヌやネコとのふれあいが特徴的なペット共生型障がい者支援施設です。